

OMRC mail magazine

温泉医科学研究所 HP <http://www.onsen-msrc.com/>

メールマガジン編集担当の主任研究員:後藤康彰です。

このメールは、温泉医科学研究所のメールマガジン登録をいただいた方、
温泉入浴指導員、温泉利用指導者講習会にご参画いただいた方、アンケート、
名刺交換をいただいた皆様にお送りしております。

<目 次>

- 1.【研究情報】「和温療法」～先進医療承認がもたらした大きなインパクト～
- 2.【お知らせ】 第5回ヘルスツーリズム大賞・奨励賞表彰式開催
(日本ヘルスツーリズム振興機構)
- 3.【活動報告】 第6回(平成 24 年度)温泉入浴指導員養成講習会終了
(日本健康開発財団)
- 4.【お知らせ】 平成 25 年度温泉利用指導者・温泉入浴指導員講習会スケジュール
(日本健康開発財団)

=====

- 1.【研究情報】「和温療法」～先進医療承認がもたらした大きなインパクト～

=====

昨年11月1日付の官報に、「心不全に対する和温療法」が「先進医療B」の位置づけで、
公示されました。

「和温療法」は 1989 年に鹿児島大学(当時)の鄭忠和教授らのグループが開発なされた療法で、
これまでに膨大な研究成果が蓄積されています。現在も鹿児島大学はじめ多くの大学において、
将来的な保険適応を目指した有用性、安全性を実証する研究がつづけられています。

療法の定義は、

「心身を和ませる温度で全身を 15 分間均等加温室(器)で保温し、深部体温を約 1.0 °C ~ 1.2 °C 上昇させた後、さらに 30 分間の安静保温で和温効果を持続させ、終了時に発汗に見合う水分を補給する治療法」。

その最大の効果は、

「血管内皮からNO(一酸化窒素)が出され、血管機能を改善し血管の新生が促される」

ことで、

「副作用がない」、「費用対効果が高い」、「和んで気持ちいい」

ことも大きな利点です。

「和温:Waon」は鄭先生の造語で、「和」、「温」は訓読みにすると「なごむ・ぬくもり」。

「心地よく心身をリフレッシュさせるぬくもり」

の意味がこめられています。

鄭先生は鹿児島大学を昨年退官後、東京紀尾井町に和温療法研究所を設立なさせて、

精力的な活動を続けてらっしゃいます。

お問い合わせ先:和温療法研究所(電話:03-3239-1621)まで。

医学界にとっても画期的なことはもちろんのこと、「温泉」や「入浴」に関連する業界にとっても非常に大きなポジティブインパクトがもたらされた出来事でした。

(後藤康彰)

=====

2.【お知らせ】第5回ヘルスツーリズム大賞・奨励賞表彰式開催

(日本ヘルスツーリズム振興機構)

=====

平成 25 年 3 月 28 日(木)に、東京都新宿区ホテルサンルートプラザ新宿にて、標記表彰式が
開催されます。日本ヘルスツーリズム振興機構は、

「ヘルスツーリズムの推進による「日本の元気」実現
を提言している NPO 法人です。

本年は奨励賞に

久米島町観光協会・食物アレルギー対応委員会(沖縄県)

竹田市ツーリズム観光協会・温泉療養保健システムの取組み(大分県)

が選ばれました。

選考基準は、

1. 科学的根拠に基づくプログラムに妥当性があり、ヘルスツーリズムの振興に寄与しているか
2. 老若男女を問わず誰もが安心して楽しめるプログラムであり、バリアフリーの配慮があるか
3. 地域の特性を活かし、地域振興や活性化に貢献しているか

とのことで、個人的にはこうした視点が今後ますます重要になるのではないかと感じています。

表彰式の後には懇親会。

各受賞団体から届けられた郷土の味を肴に気軽に情報交換ができる場が設けられています。
なんとも魅力的。

ご興味ある方は、こちらをご覧ください。

<http://www.npo-healthtourism.or.jp/event/pdf/award5.pdf>

(後藤康彰)

=====

3.【活動報告】 第6回(平成 24 年度)温泉入浴指導員養成講習会終了

(日本健康開発財団)

=====

平成 25 年 3 月 16～17 日に東京都千代田区(東京YWCA会館)にて、本年度最後の講習会が開催され、新たに 18 名が講習会を修了されました。(全修了者累計:4,632 名)。

今回は土日開催にもかかわらず、温泉・温浴施設に勤務なさっている方が多く受講された講習会となりました。そのため、知識としては身につけていても、実際に現場で起こるジレンマ課題への対処方法(たとえば飲酒者の入浴)などについても、みなさんの実際の経験に基づいた議論が行われ、印象的でした。

温泉利用指導者・温泉入浴指導員の SNS にも興味をもたれた方が多くいらっしゃいました。先輩の温泉利用指導者・温泉入浴指導員の皆さんは、あたたかく迎えてくださいますようよろしくお願い申し上げます。

(後藤康彰)

=====

4.【お知らせ】平成25年度温泉利用指導者・温泉入浴指導員講習会スケジュール
(日本健康開発財団)

=====

平成24年度は、新たに温泉利用指導者が19名、温泉入浴指導員が108名誕生しました。
みなさんのますますのご活躍を、スタッフ一同ご期待しております。
このたび、平成25年度の両講習会の開催概要が確定しましたので、お知らせいたします。

■温泉利用指導者養成講習会

- 開催回数：1回
- 開催日程：平成25年10月9日(水)～16日(水)
- 開催場所：東京(実習の一部は神奈川)予定
- 募集人員：30名
- 募集開始：4月中旬(予定)

■温泉入浴指導員養成講習会

- 開催回数：6回
- 開催日程：6、7、9、11、1、3月
※6、7月のみ日程・場所が確定しています。
平成25年6月6日(木)～7日(金) 千代田区立スポーツセンター(東京都千代田区)
平成25年7月20日(土)～21日(日) BunB 東京スポーツ会館(東京都江東区)
- 開催場所：東京
- 募集人員：30名
- 募集開始：開催の2か月程度前(予定)

募集は順次、日本健康開発財団ホームページで開始いたします。

<http://www.jph-ri.or.jp/>

なお、温泉利用指導者・温泉入浴指導員を対象とした研修会・交流会につきましても、
新年度も開催を予定しています。

(後藤康彰)

※このメールは、温泉医科学研究所のホームページでメルマガ配信登録を
いただいた方、温泉利用指導者・温泉入浴指導員受講者で、メルマガ配信を
希望された方、名刺交換をさせていただいた方、アンケートをされた方に
お送りしております。

配信がご不要な方は、お手数ですが下記 URL にアクセスしていただき、
「メルマガ解除」をお願い申し上げます。

解除 URL: <http://r34.smp.ne.jp/o/Pg/236069/BcP1JDH7ci0D/out?stop=k>

■発行: 温泉医科学研究所

<http://www.onsen-msrc.com/>

■編集: 主任研究員 後藤康彰

mailto: ygoto@onsen-msrc.com

(c)Japan Health & Research Institute. All rights reserved